

# ちかみらい通信

## ～液状化に強いまちを目指して～

熊本市では、近見地区において「宅地液状化防止事業」を進めています。事業について広く市民の皆様にご覧いただくため、熊本市宅地液状化防止事業情報誌として「ちかみらい通信」を進捗にあわせて発行し、情報の共有に努めております。

### 「液状化シンポジウム～熊本地震から学ぶ液状化～」を開催しました。

液状化シンポジウムでは、多くの方にご来場いただきました。誠にありがとうございました。

平成31年3月24日(日)に開催しました液状化シンポジウムでは、第1部に熊本市液状化対策技術検討委員会(以下、委員会)の北園会長(熊本大学名誉教授)と村上委員(福岡大学教授)にお越しいただき、液状化現象やその対策に関する事、また、これまでの委員会の検討内容についてご講演いただきました。

第2部では、意見交流として、地元の代表者の方や当日ご来場いただいた方からの質問について委員の先生方に回答していただきました。



#### 【宅地への支援制度】 ●熊本市宅地復旧支援事業

この事業では、「宅地地盤復旧工事」、「家屋傾斜修復」、「新築・既存の地盤改良工事」の助成金制度により被災者の方々へ支援を行っております。詳しくは、下記問合せ先まで。

#### 皆様からの質問とその回答のコーナー

ここでは、シンポジウムや会議などで皆様からいただいた質問とその回答をご紹介します。

**問1**：近見地区の被害は液状化現象によるものか？液状化現象であれば、その要因は？

**答1**：・噴砂などの被害状況から液状化現象と言えます。  
・地盤に緩い砂の層があり、そこが地下水で満たされていることが要因です。

**問2**：地下水位低下工法で地下水位を地面から3m程度まで下げれば被害を抑制、軽減できるのはなぜか？効果は恒久的でバラつきはないか？どのくらいの地震まで効果があるか？

**答2**：・液状化被害がゼロになるとは言い切れませんが、地下水位を地面から3m程度まで下げることによって地表面の液状化する層がなくなり、液状化被害のリスクが下がります。  
・地下水位を下げ続ければ効果は恒久的です。  
・熊本地震程度の地震に対し効果がありますが、建物が重いものほど効果が得られにくくなります。

#### 【問合せ先】 ◇熊本市 震災宅地対策課

熊本市中央区花畑町10-34 熊本花畑ビル3階 TEL:096-328-2966

mail: [shinsaitakuchi@city.kumamoto.lg.jp](mailto:shinsaitakuchi@city.kumamoto.lg.jp)